連携講座　③－1【聖路加国際大学】一般募集　20名

◆住み慣れた場所で生き生きと暮らそう

主　題　日本は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は、医療や介護の需要がさらに増えることが見込まれています。

この講座では、この問題を身近にとらえ、高齢になっても住み慣れた地域で暮らすために知っておきたいことや介護予防の知識、自分のからだをいたわり養生する方法など、健康に生き生きと暮らすために知っておきたいことを座学で学びます。また、演習ではヨーガを取り入れたからだの動かし方を実践します。

講座番号　③－1

時　間：午後6時～7時30分
場　所：聖路加国際大学2号館
回　数：5回
受講料：1,500円
定　員：28名

※第2回、第3回、第5回はからだを動かしやすい服装を準備してください。（更衣室で着替えることもできます）

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/14（水）	2025年問題に向けて 地域包括ケアシステムについて知ろう	山田　雅子
第2回	9/28（水）	ロコモティブシンドロームについて ～健康寿命と運動のススメ～	前田　洋平
第3回	10/12（水）	生活にヨーガを取り入れて介護予防①	花村　睦
第4回	10/26（水）	からだの不調とのつきあい方、セルフケア	津田　篤太郎
第5回	11/　9（水）	生活にヨーガを取り入れて介護予防②	花村　睦

講師紹介

山田　雅子（やまだ　まさこ）

聖路加国際大学教授、同大学教育センター生涯教育部部長。聖路加看護大学卒業後、聖路加国際病院、セコム在宅医療システム㈱、セコメディック病院、厚生労働省を経て、2007年から現職。在宅看護の発展を願い、長年さまざまな立場で取り組む。現在、認知症の母を介護中。

前田　洋平（まえだ　ようへい）

聖路加国際病院リハビリテーション科アシスタントマネジャー、理学療法士。広島大学医学部保健学科卒業後、聖路加国際病院リハビリテーション科入職。主に脳血管疾患、運動器疾患、糖尿病などを担当。週に一回、訪問リハビリテーションにも従事している。

花村　睦（はなむら　むつみ）

ハタヨーガ・ティーチャー。立教大学・日本女子大学卒業。米国・インドでヨーガを学び、「聞き合うコト・つなぐコト」をテーマに、ヨーガやコミュニケーションの講座を開催。誰にでも分かりやすい方法で、ハタヨーガストレッチと瞑想を行う。

津田　篤太郎（つだ　とくたろう）

聖路加国際病院リウマチ膠原病センター副医長。天理よろづ相談所病院、東京女子医科大学、北里大学大学院医療系研究科（東洋医学）、JR東京総合病院を経て2014年から現職。日本リウマチ学会専門医、日本東洋医学会漢方専門医。西洋医学と漢方の双方を生かす医療をめざしている。

会場図

中央区築地3－8－5
☎6226－6388

連携講座　③－2【三井記念美術館】 一般募集　35名

◆展覧会を観る

主　題　三井記念美術館が開催する平成28年度後半の展覧会にあわせ、企画担当者がそれぞれの専門の立場から講義を行います。2時間のうち1時間が講義、あとの1時間が展覧会の自由見学です。

※はじめて受講される方が優先されます。
※当日欠席者には、翌日以降の平日午前9時～午後5時に、区役所6階文化・生涯学習課生涯学習係で入場券をお渡しします。

講座番号　③－2

時　間：午後2時～4時
場　所：三井記念美術館
回　数：3回
受講料：900円
入館料：2,100円（3回分）
定　員：40名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/27（火）	松島　瑞巌寺と伊達政宗	清水　実
第2回	12/13（火）	日本の伝統芸能展	海老澤　るりは
第3回	2/28（火）	三井家のおひなさま	小林　祐子

講師紹介

清水　実（しみず　みのる）

三井記念美術館学芸部長、主席学芸員。國學院大學史学科卒業。専門は宗教美術史・文化史、茶道美術。

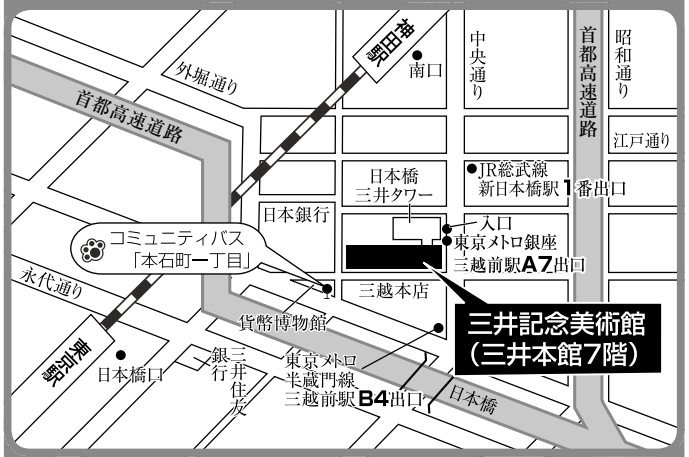
海老澤　るりは（えびさわ　るりは）

三井記念美術館主任学芸員。成城大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学。2011年から現職。専門は日本彫刻史。

小林　祐子（こばやし　ゆうこ）

三井記念美術館主任学芸員。学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程単位取得退学。財団法人永青文庫学芸員を経て2004年10月から現職。専門は日本漆器工史。

会場図



中央区日本橋室町2－1－1 三井本館7階
☎5777－8600

三井記念美術館　展覧会スケジュール

特別展　**松島　瑞巌寺と伊達政宗**

2016年9月10日（土）～11月13日（日）

瑞巌寺国宝本堂の平成大修理完成と伊達政宗生誕450年を記念する特別展。特に、東日本大震災復興を祈念して五大堂の秘仏五大明王像が出品されます。また、重要文化財の本堂障壁画など瑞巌寺の至宝をはじめ、仙台市博物館が所蔵する貴重な伊達政宗関係の美術品、歴史資料により、瑞巌寺と仙台藩の歴史と文化をご覧いただきます。

特別展　国立劇場開場50周年記念

日本の伝統芸能展

2016年11月26日（土）～2017年1月28日（土）

わが国は「伝統芸能の宝庫」と呼ばれるほど、各時代・各分野の芸能が伝承されています。こうした伝統芸能の保存振興のため、昭和41年に国立劇場が開場しました。今回は開場50周年を記念し、「雅楽」「能楽」「文楽」「歌舞伎」のほか、演芸や芸能など、わが国の伝統芸能全般について、芸能具や美術工芸品を通し、そこにこめられた日本人の美意識をご紹介いたします。

三井家のおひなさま

特集展示　三井家の別荘・城山荘の想い出

2017年2月18日（土）～4月2日（日）

毎年恒例となりました、日本橋に春の訪れを告げる「三井家のおひなさま」展。三井家の夫人や娘たちがこよなく愛した、ひな人形・ひな道具の華麗なる競演をお楽しみください。

展示室7では、特集展示として「三井家の別荘・城山荘の想い出」をご紹介いたします。

連携講座　③－3【松竹株式会社】　一般募集　50名

託児付
【対象】
2歳半～
未就学児
11/10観劇時を除く

◆歌舞伎ものしり講座

主　題　歌舞伎は江戸時代の日本人が創り出したエンターテイメントの最高傑作といえるでしょう。そこには優れた色彩感覚や音楽、言葉の遊びが溢れ、綿密に練り上げられたストーリーは自由奔放に展開し、時には奇想天外な楽しさで観客を魅了します。その主役はなんといっても、舞台で華やかなオーラを放つ歌舞伎俳優たち。時代を超えて、脈々と受け継がれてきた芸は、観客からパワーを得てますます輝き出す……、だから歌舞伎は面白い！

今回の講座では、歌舞伎座一等席での観劇（11月公演）を通して歌舞伎の楽しさを体感していただきます。

講座番号　③－3

時　間：午後2時30分～4時
※第4回は午後2時30分～9時頃
場　所：築地社会教育会館ほか
※第4回は講義後、歌舞伎座
回　数：5回
受講料：2,500円
観劇料：14,500円
定　員：80名

※はじめて受講される方が優先されます。
※第1回～5回のうち1回にゲストをお招きする予定です。ゲストの都合により、講座内容が入れ替わる場合がありますので、ご了承ください。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/29（木）	おぼえておきたい名せりふ	金田　栄一
第2回	10/13（木）	役者と襲名	
第3回	10/27（木）	歌舞伎グルメ考	
第4回	11/10（木）	観劇の手引きと観劇	
第5回	11/24（木）	江戸の用語あれこれ	

講師紹介

金田　栄一（かねだ　えいいち）

歌舞伎座舞台（株）顧問。1971年立教大学卒業。在学中は歌舞伎研究会に所属。同年松竹株式会社に入社。歌舞伎座宣伝課長、副支配人、支配人、演劇本部ゼネラルマネジャーを経て、2005年5月から（株）伝統文化放送代表取締役社長に就任。2008年から歌舞伎座舞台（株）代表取締役社長、2012年から顧問を務める。

歌舞伎座外観

会場図（第4回講義終了後）

中央区銀座4－12－15

連携講座　③－4【近畿大学】　一般募集　25名

託児付
【対象】
2歳半～
未就学児

◆若さを保つアンチエイジング研究の最前線

講座番号　③－4

時　間：午後2時～4時
場　所：築地社会教育会館
回　数：3回
受講料：900円
定　員：40名

主　題　近畿大学アンチエイジングセンターは、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」の助成を受け、専門分野が異なる複数の研究者が分野横断的に連携し、3つの“C”、すなわちCheck（加齢マーカーを指標とする診断）、Care（健康指導・栄養指導）、Cure（長期スパンでの支援）を実践し、予防医療としてのアンチエイジング効果を科学的エビデンスに基づいて実証することを目指しています。

この講座では、薬学領域でのエビデンスに基づいた食によるアンチエイジング、アンチエイジングのための化粧品材料開発ならびに医学的見地から運動・食事・精神・環境改善に基づいた「見た目の科学」といった、医学・薬学が社会に貢献できるアンチエイジングに関する活動をご紹介いたします。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/17（土）	「くすり」と「食べ物」のはなし ～上手に使って健康長寿～	森川　敏生
第2回	9/24（土）	化粧品材料開発から「美」を提案する	多賀　淳
第3回	10/15（土）	見た目のアンチエイジングとは何か	山田　秀和

講師紹介

森川　敏生（もりかわ　としお）

近畿大学薬学総合研究所教授。世界各地の伝承薬物や伝統食材などから、生活習慣病の予防や初期症状の緩和に有用な機能性成分を見いだし、新しい医薬シーズを探索するとともに、特定保健用食品や機能性表示食品などに利用できる新規素材の開発を目指している。

多賀　淳（たが　あつし）

近畿大学薬学部医療薬学科准教授。近畿大学大学院薬学研究科博士前期課程修了。その後、論文をまとめて大阪大学より学位を取得。分析化学を中心に研究活動を行う中で、分離・精製技術により動物由来コラーゲンの抽出方法について研究を行い、純度の高いフルレングスコラーゲンの抽出方法を開発し、化粧品材料への商用化を行う。

山田　秀和（やまだ　ひでかず）

近畿大学医学部奈良病院皮膚科教授、近畿大学アンチエイジングセンター副センター長。抗加齢医学に“見た目の科学”を持ち込んで、運動・食事・精神（脳・睡眠）・環境を改善して対応していくことを目指す。見た目は皮膚・容貌・体形を意味し、見た目の若々しさ、美しさが重要と説く。

連携講座　③－5【松竹株式会社】　一般募集　25名

◆映画おもしろ講座
～中央区・築地と松竹映画～

託児付
【対象】
2歳半～
未就学児
10/1鑑賞時を除く

主　題　世界一の魚市場として日本の食文化を支えてきた築地市場が、来たる11月に江東区の豊洲新市場へ移転します。

そこでこの講座では、中央区・築地と松竹映画をテーマとし、人間ドラマ・ドキュメンタリー・歴史を切り口に、さまざまな角度から築地と映画を味わっていただきます。2008年公開の『築地魚河岸三代目』は、活気あふれる築地市場を舞台とした人情厚い人々のハートフルなコメディ作品。松原監督に制作秘話を伺います。続いて今年10月1日に公開となる築地市場のドキュメンタリー映画『TSUKIJI WONDERLAND』を鑑賞し、最終回では、田中監督に中央区・築地と松竹映画についてお話しいただきます。

講座番号　③－5

時　間：午後2時～4時
※第2回は午後1時30分～4時30分頃。上映開始時刻により変更の場合があります。
場　所：築地社会教育会館ほか
※第2回は講義後、東劇
回　数：3回
受講料：900円
観劇料：1,100円
定　員：40名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/24（土）	『築地魚河岸三代目』制作秘話	松原　信吾
第2回	10/　1（土）	ドキュメンタリー映画『TSUKIJI WONDERLAND』鑑賞	松竹株式会社社員
第3回	10/15（土）	中央区・築地と松竹映画	田中　康義

講師紹介

松原　信吾（まつばら　しんご）

映画監督。1947年東京都生まれ。1970年早稲田大学第一法学部卒業、同年松竹株式会社入社。助監督として大船撮影所に配属される。1981年『なんとなく、クリスタル』で監督デビュー。1986年『青春かけおち篇』監督。1988年12月松竹株式会社退社。1989年2月に株式会社木下プロダクションの契約監督となり、多数のテレビドラマの演出を担当。2004年株式会社木下プロダクションを退社し、フリーランス。2008年『築地魚河岸三代目』監督。主に単発の2時間ドラマを中心に監督作多数。

田中　康義（たなか　こうぎ）

映画監督。日本映画監督協会会員。東京大学経済学部卒業。松竹大船撮影所入社後、小津安二郎作品などの助監督を務める。『ケメ子の唄』で初監督。ほかに『天使の誘惑』、『夕月』など。のちプロデューサーに転じ『配達されない三通の手紙』『ダウンタウンヒーローズ』などを手掛ける。小津安二郎生誕90年を記念したドキュメンタリー『小津を語る』を監督。執筆編集に『松竹百年史』、『松竹百十年史』。

会場図（第2回講義終了後）

中央区築地4－1－1

連携講座　③－6【小津和紙】 一般募集　25名

◆環境にやさしい和紙

主　題　2020年東京オリンピック開催に向け、海外の観光客や芸術家などから日本の伝統工芸である和紙が注目され、手漉き和紙体験工房や小津和紙店舗にも海外からのお客様が多くなっています。

この講座では、小津和紙の歴史を学ぶと共に、和紙がどのように作られ使われてきたか、手漉き和紙職人さんのお話などを伺います。手漉き和紙や和紙工芸品を広く海外に発信している活動報告とワークショップ、紙漉き体験も踏まえ、千年持つといわれている日本の和紙の素晴らしさを学んでみましょう。

講座番号　③－6

時　間：午後3時30分～5時30分
場　所：日本橋小津和紙
回　数：4回
受講料：1,200円
材料費：1,000円
定　員：30名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/28（水）	小津の歴史／小津史料館・小津和紙照覧見学	一瀬　正廣
第2回	10/12（水）	日本遺産 吉野手漉き和紙の歴史と変遷	福西　正行
第3回	10/26（水）	人・環境・文化から眺める日本の和紙めぐり	木南　有美子
第4回	11/ 9（水）	紙漉き体験と館内案内	高木　清

講師紹介

一瀬　正廣（いちのせ　まさひろ）

小津和紙照覧総責任者。1952年生まれ。1965年小津産業株式会社入社。家庭紙・日用品の販売を担当し、その後に支店長就任。2005年小津和紙店長に就任、同年に和紙文化研究会の会員となる。2012年小津和紙アドバイザー。2015年から現職兼務。

木南　有美子（きみなみ　ゆみこ）

特定非営利活動法人PIARAS理事長。「手漉き和紙を楽しむ」をテーマに「和紙旅」を企画。産地（地域）を利用したニーズの掘りおこし、新しい使途によるジャンルを超えたマッチングなど日本の手漉きを広く普及する活動を行う。また、フラワーコーディネーターの経験を踏まえ、手漉き和紙と生花の新しい表現「花紙絵」を伝える。

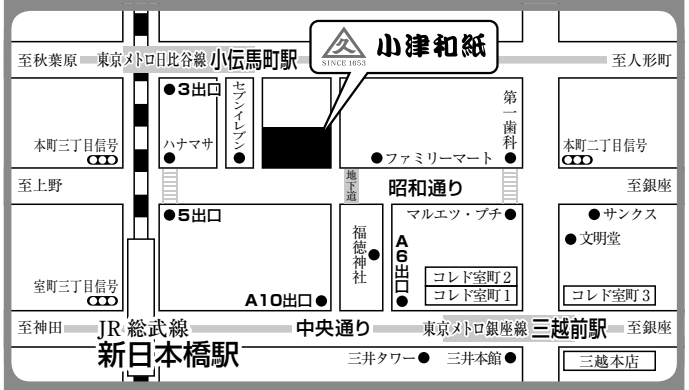
福西　正行（ふくにし　まさゆき）

福西和紙本舗6代目。大阪芸術大学芸術計画学科卒業。卒業制作はグランプリ受賞。卒業後和紙の手伝いに入る。全国手漉き和紙連合会員。奈良県工芸協会会員。2010年伝統技術伝承者協会会員。国宝、国内外からの文化財の修復用紙を製作。現在、奈良県伝統工芸士。国の表具用手漉き和紙宇陀紙選定保存技術保持者。森の名手・名人に認定。奈良県産業共励会理事、国栖の里観光協会会長ほか。

高木　清（たかぎ　きよし）

小津和紙課長、小津和紙広報担当。1960年生まれ。1983年小津産業株式会社入社後、不織布による工業用ワイパーの企画販売、不織布による生活雑貨品の企画販売、機械抄き和紙による産業用原紙の企画販売を担当。2009年株式会社小津商店へ移籍。小津和紙にて手漉き和紙及び機械抄き和紙の販売を担当。現在手漉き和紙体験工房指導員を兼ねる。

会場図



中央区日本橋本町3－6－2

小津和紙　展覧会スケジュール

9/26（月）～10/ 1（土）　S会展　（水墨画）
10/10（月）～10/15（土）　吉野和紙の可能性展
10/24（月）～10/29（土）　「心の風景」彫雅会展（鎌倉彫）
11/ 9（水）～11/12（土）　聖句書道東京展

連携講座　③－7【奈良まほろば館】　一般募集　30名

◆記紀・万葉のふるさと奈良
～志貴皇子とその時代～

主　題　奈良県は、記紀･万葉（『古事記』『日本書紀』『万葉集』）のふるさと。これらは現存する日本最古の歌集や歴史書として、世代を問わず多くの人に親しまれています。

今年はとくに志貴皇子没後1300年を迎えることから、この講座では、歌人として名高い志貴皇子にスポットをあて、『万葉集』に収録されている彼や彼の子孫たちの歌、彼が生きた時代背景などを探り、新たな視点から記紀・万葉に親しんでいただきます。

※志貴皇子（生年不詳～716年）
天智天皇の第七皇子。没後、その子である光仁天皇が即位したことから、春日宮天皇の称号が贈られました。『万葉集』には6首の歌が収録されています。

講座番号　③－7

時　間：午後2時～3時30分
場　所：奈良まほろば館2階
回　数：4回
受講料：1,200円
定　員：35名（区民カレッジ枠）
※定員の半数は奈良まほろば館で募集します。区外の方もお申し込みできます。（8月11日から募集予定）

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/ 9（日）	志貴皇子歌と『万葉集』の編纂	市瀬　雅之
第2回	11/20（日）	万葉集に残る志貴皇子の影～目録・注記・配列～	新沢　典子
第3回	12/18（日）	天智系皇子はいつ復権できたのか～志貴皇子への追尊～	松尾　光
第4回	1/22（日）	采女の袖吹き返す明日香風～志貴皇子没後1300年～	井上　さやか

講師紹介

市瀬　雅之（いちのせ　まさゆき）
梅花女子大学文化表現学部教授。博士（文学）。専門は、上代文学。著書に『大伴家持論　文学と氏族伝統』、『万葉集編纂論』、『北大阪に眠る古代天皇と貴族たち』（梅花学園生涯学習センター）、共著に『東海の万葉歌』（おうふう）、『万葉集編纂構想論』（笠間書院）など。ホームページ「万葉考房」。

新沢　典子（しんざわ　のりこ）
鶴見大学文学部准教授。専門は日本文学（万葉集）。上代文学会常任理事、美夫君志会常任理事。名古屋大学大学院博士課程修了（文学）。主な論文に「万葉歌における希望の終助詞「ね」の偏在について」、「万葉集巻一・七八番歌は元明御製であったか」など。

松尾　光（まつお　ひかる）
早稲田大学非常勤講師。奈良県立万葉文化館名誉研究員。専門は日本古代史。続日本紀研究会会員、木簡学会会員。学習院大学大学院人文科学研究科史学専攻博士課程修了。博士（史学）。主な著書に『古代の神々と王権』、『天平の木簡と文化』、『万葉集とその時代』（いずれも笠間書院）、『現代語訳魏志倭人伝』（KADOKAWA）など。

井上　さやか（いのうえ　さやか）
奈良県立万葉文化館指導研究員。博士（文学）。専門分野は『万葉集』を中心とした日本文学。著書に『山部赤人と叙景』（新典社）、『万葉集からみる「世界」』（新典社新書）、監修に『マンガで楽しむ古典 万葉集』（ナツメ社）。『旅のはじまりと文化の生成』（大学教育出版）、『萬葉集名花百種鑑賞』（新典社）などにも執筆。

会場図

【交通】■東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前駅」A1出口
■東京八重洲口からメトロリンク日本橋（無料バス）「地下鉄三越前駅」下車

中央区日本橋室町1－6－2
日本橋室町162ビル2F　☎3516－3931

奈良まほろば館での募集　35名

定員の半数は奈良まほろば館で募集します。区外の方もお申し込みできます。

申込方法
奈良まほろば館のホームページ「講座案内」
（http://www.mahoroba-kan.jp/course.html）
の申込フォームまたは往復はがきで
（記載事項は本誌2ページ、記入例の①～⑤）
9月8日（必着）までに申し込む。

申し込み先
〒103-0022
中央区日本橋室町1-6-2
奈良まほろば館

※中央区（区内在住・在勤・在学者）か奈良まほろば館（どなたでも）かどちらか一方でお申し込みください。

奈良県マスコットキャラクター
せんとくん
©NARA pref.
http://www.pref.nara.jp/

連携講座　③－8【慶應義塾大学アート・センター】 一般募集　15名

◆アートを拓く
～さまざまな芸術との出会い～

主　題　慶應義塾大学アート・センターは、さまざまな芸術領域にかかわる研究を展開している機関です。大学の研究機関でありながら、大学の外と積極的に繋がる活動をお届けしています。

この講座では、多様な研究分野を有する講師のレクチャーを通じて、芸術の見方や味わい方のコツを学ぶことで、アートをずっと身近に感じたり、より深く鑑賞することを目指します。アートが、遠い特別なものではなく、日常生活とのつながりを多く秘めているものであることを知って、さらなる興味を発展させる機会になれば幸いです。

講座番号　③－8

時　間：午後6時30分～8時30分
場　所：築地社会教育会館
回　数：5回
受講料：1,500円
定　員：30名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/19（水）	建築を知る～中央区の建築を中心に～	渡部　葉子
第2回	11/16（水）	展覧会を楽しむ～美と知と出会う場所＜美術館＞～	森山　緑
第3回	12/14（水）	クリスマスと美術 ～西洋美術の根幹をなすキリスト教美術について～	本間　友
第4回	1/18（水）	映画の見方～予感について～	久保　仁志
第5回	2/15（水）	舞踏の世界～日本で創造された芸術＜BUTOH＞から～	森下　隆

講師紹介

渡部　葉子（わたなべ　ようこ）

慶應義塾大学アート・センター教授、キュレーター。専門は近現代美術史。慶應義塾大学大学院修了（美学・美術史）。東京都美術館、東京都現代美術館において、学芸員として現代美術を中心に展覧会活動や研究活動を展開し、2006年から現職。展覧会などの企画実施とともに、同センターが所管するアーカイヴの活動に関わり「慶應義塾の建築プロジェクト」を主導している。

森山　緑（もりやま　みどり）

慶應義塾大学アート・センター所員、慶應義塾大学・横浜国立大学・昭和大学講師。慶應義塾大学大学院修了（美学・美術史）。特に、西洋近代美術の中でドイツ表現主義のフランツ・マルクや動物画を専門とする。同センターのアート・アーカイヴ運営に関わり、展覧会への貸出しや研究者の調査への協力を行っている。近年は美術館の教育普及活動にも関心を広げ、美術館での鑑賞体験と学びによる生涯学習の可能性拡大について研究を行っている。

本間　友（ほんま　ゆう）

慶應義塾大学アート・センター所員、慶應義塾大学・和洋女子大学講師。慶應義塾大学大学院修了（美学・美術史、イタリア・ルネサンス祭壇画研究）。同センターにて展覧会の企画、アーカイヴの運営、海外での上映会や展覧会の開催に携わる。目下、造形美術における「境界」表現について、また学術情報の流通・研究支援に焦点を当てた研究を行っている。

久保　仁志（くぼ　ひとし）

慶應義塾大学アート・センター所員、武蔵野音楽大学講師。専門は美術理論・映画理論・アーカイヴ理論。多摩美術大学芸術学科アーカイヴ企画室、東京藝術大学大学美術館、東京藝術大学音楽学部小泉文夫記念資料室を経て現職。これらの機関でアーカイヴ構築に携わる一方、実験芸術学を標榜し、制作と研究が一体になるような活動を行っている。現在は、勅使河原宏の映画についての映画を準備している。

森下　隆（もりした　たかし）

慶應義塾大学アート・センター所員、慶應義塾大学講師、NPO法人舞踏創造資源代表理事。同センターの土方巽アーカイヴを運営している。土方展の企画･構成、舞踏公演の制作を国内外で実施。著書に『土方巽の舞踏』（編･共著、慶應義塾大学出版会）、『写真集土方巽-肉体の舞踏誌』（勉誠出版）、“*Hijikata Tatsumi's Notational Butoh*（慶應義塾大学アート･センター）など。

連携講座　③－9【認定特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク】　一般募集　20名

◆大人のためのクラシック入門講座
モーツァルトの魅力

主　題　音楽ホールでのクラシック鑑賞を、より楽しむための体験つき講座です。テーマは「モーツァルト」。幼少の頃から神童とうたわれ、教会音楽、オペラ、交響曲、協奏曲……さまざまなジャンルで傑作を残したモーツァルト、今回は室内楽の楽しさに迫ります。有田栄（時々作曲家たちが憑依）による親しみやすい講義に、ホール見学、公開リハーサル、フルートの体験がセットとなり、最終回は実際に第一生命ホールで行われる世界最高峰のホルン奏者バボラークによるモーツァルトのホルン五重奏曲ほか室内楽コンサートを楽しみます。

講座番号　③－9

時　間：午後2時～4時
場　所：第一生命ホール
※第2回、3回は晴海トリトンスクエアX棟会議室
回　数：4回
受講料：2,000円
鑑賞料：4,500円
定　員：30名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/29（土）	ホールバックステージツアーとリハーサル見学 演奏：トリトン晴れた海のオーケストラ	有田　栄
第2回	11/ 5（土）	モーツァルトレクチャー	
第3回	11/12（土）	フルート体験 協力：株式会社村松フルート製作所	益田　善太 黒田　聰
第4回	11/26（土）	公演鑑賞「室内楽の魅力 モーツァルト第2回～ホルンの室内楽」 演奏：ラデク・バボラーク（ホルン）ほか	

講師紹介

有田　栄（ありた　さかえ）

昭和音楽大学教授。東京藝術大学音楽学部楽理科、同大学院音楽研究科修士課程を経て、同博士後期課程修了。博士（音楽学）。専門は西洋音楽史のほか現代の音楽・音楽美学。西洋芸術音楽における声の文化の伝統、および現代の声の音楽をテーマに研究。他方でクラシックを身近に感じられるテーマでの本の執筆や、NHK-FMなどラジオ・TV音楽番組への出演、また音楽史を楽しく学ぶ市民のための公開講座や講演などを通じ、古楽から現代音楽までさまざまなジャンルの音楽の紹介に努めている。現在NHK-FM「オペラ・ファンタスティカ」番組パーソナリティ。近著に『わからない音楽なんてない！子どものためのコンサートを考える』（共著、日本図書館協会選定図書）。

益田　善太（ますだ　ぜんた）

フルーティスト、東邦音楽大学・短期大学講師。東京藝術大学卒業、同大学院修了。フルートを佐藤直美、中野富雄、金昌国、P.マイゼンの諸氏に師事。ムラマツ・フルート・レッスンセンター講師。

黒田　聰（くろだ　さとし）

フルーティスト、木管五重奏アンサンブル・カシオペヤメンバー。東京藝術大学卒業後、渡独。2007年ドイツ・シュトゥットガルト国立芸術大学卒業。現在、オーケストラ、室内楽の分野で活躍している。ムラマツ・フルート・レッスンセンター講師。

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク（TAN）とは

晴海トリトンスクエア内にある第一生命ホールを拠点とし、ホールの主催公演である芸術活動と、周辺地域を中心としたコミュニティ活動を2本の柱として、会員とサポーター（ボランティア）、寄付者の支えを受けて実施している認定NPO法人です。

会場図

第1回、4回　中央区晴海1－8－9
第2回、3回　中央区晴海1－8－16

連携講座　③－10【岡山大学】　一般募集　50名

◆科学技術の最前線

主　題　文部科学省の「研究力大学強化促進事業」、「スーパーグローバル大学創成支援事業」に選定されている岡山大学は、大学の「研究の質」を測るTop10%補正論文数（2009年～13年　同省科学技術・学術政策研究所発表）の伸び率でも全国の大学中第２位と注目されております。

この講座では、国際機関、政府機関、海外大学との共同研究など、国内外で活躍されている先生方から、環境・生命に関わる選りすぐりの研究を紹介いたします。

講座番号　③－10

時　間：午後６時30分～８時30分
場　所：築地社会教育会館
回　数：４回
受講料：1,200円
定　員：60名

回数	日程	講義内容	講師名
第１回	11/ 4（金）	腸内フローラによる俯瞰的ヒト健康評価 ～ご自身の腸内フローラを見てみませんか！～	森田　英利
第２回	11/11（金）	環境と命を考える ～水俣病や大気汚染の疫学研究を通して～	頼藤　貴志
第３回	11/18（金）	インフラストラクチャーの劣化 ～産業副産物による超耐久化～	綾野　克紀
第４回	11/25（金）	稲のミネラル吸収と分配の仕組み ～土壌から米へ～	山地　直樹

講師紹介

森田　英利（もりた　ひでとし）

岡山大学大学院環境生命科学研究科教授。1963年生まれ。1991年岡山大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了（学術博士）。乳酸菌・ビフィズス菌のゲノム解析によりプロバイオティクス効果や生体影響を解明している。また、腸内フローラと生体影響の研究によりNature誌やCell誌に掲載論文がある。NHK「あさイチ」、フジテレビ「その原因腸にあり！」に出演。現在、内閣府消費者委員会新開発食品調査部会新開発食品評価第二調査会委員（いわゆる、トクホの機能性評価委員）。

頼藤　貴志（よりふじ　たかし）

岡山大学大学院環境生命科学研究科准教授。1977年生まれ。岡山大学博士（医学）。環境疫学、小児周産期疫学が専門。大学時代より胎児性水俣病患者と交流、現在も毎月水俣に通う。ヨーロッパ環境局より依頼を受け、水俣病の教訓について執筆。また、大気汚染と発がんの関係を評価する疫学部会メンバーとして世界保健機構（WHO）の報告書作成に貢献。NHKクローズアップ現代（2015年６月）「“病の姿”が見えない　～新潟水俣病の50年～」に出演。

綾野　克紀（あやの　としき）

岡山大学大学院環境生命科学研究科教授。1964年生まれ。1989年岡山大学大学院修了。1995年学術振興会特定国派遣研究員としてスイス連邦工科大学に１年間留学。コンクリートの乾燥収縮ひずみ、セメントを使わないコンクリートなどで、多くの学会賞を受賞。現在、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」に研究課題が採択され、研究代表者を務める。

山地　直樹（やまじ　なおき）

岡山大学資源植物科学研究所准教授。1977年生まれ。2005年香川大学大学院修了。博士（農学）。植物が土壌中の無機栄養素（ミネラル）を吸収・分配して生育する仕組み、土壌環境のミネラル過不足に対処する仕組みを研究している。イネなどの節（せつ）が栄養素の分配に重要な役割を担うことを明らかにしてきた。2015年トムソン・ロイター社“高被引用論文著者”に選出、岡山大学若手トップリサーチャー研究奨励賞受賞。

岡山大学構内のいちょう並木と時計台

連携講座　③－11【清水建設株式会社】 一般募集　80名

◆多様な共生社会に向けて
～障害者サポートを考える～

主　題　今後の日本は、超高齢社会に向かっていきます。また増加する外国人、女性や障害のある方がいっそう活躍できる社会が期待されています。年齢、国籍、性別や障害の有無などに関わらず、共に働き、楽しむことのできる共生社会を目指していくことが必要です。

多様な共生社会の実現に向けて、この講座では障害者への理解を深めてもらうために、障害に関する基礎知識を学習します。実際に視覚障害を持つ方の誘導方法や車椅子利用者の介助方法を体験し、障害を持つ方とのコミュニケーションについても学んでいただきます。

講座番号　③－11

時　間：午後1時～5時
場　所：清水建設㈱本社2階
　　シミズホール　ほか
回　数：1回
受講料：500円
定　員：100名

企画・協力：特定非営利活動法人　STAND

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	11/ 6（日）	障害に関する基礎講座 理解とコミュニケーション （視覚障害者編・車椅子利用者編）	初瀬　勇輔 石川　充英 上原　大祐

講師紹介

初瀬　勇輔（はつせ　ゆうすけ）

株式会社ユニバーサルスタイル代表取締役。一般社団法人日本パラリアンズ協会理事。2008年北京パラリンピック 視覚障害者柔道90キログラム級日本代表。障害者の雇用や社会進出により広く貢献するため2011年に株式会社ユニバーサルスタイルを設立。障害を持った当事者として、障害者の就職支援を積極的に行っている。

石川　充英（いしかわ　みつひで）

社会福祉法人日本盲人社会福祉協議会東京都視覚障害者生活支援センター就労支援課長。社会福祉士、日本大学大学院修了（修士）。視覚障害者の単独歩行やパソコン操作の訓練、視覚障害者の就労支援に従事。

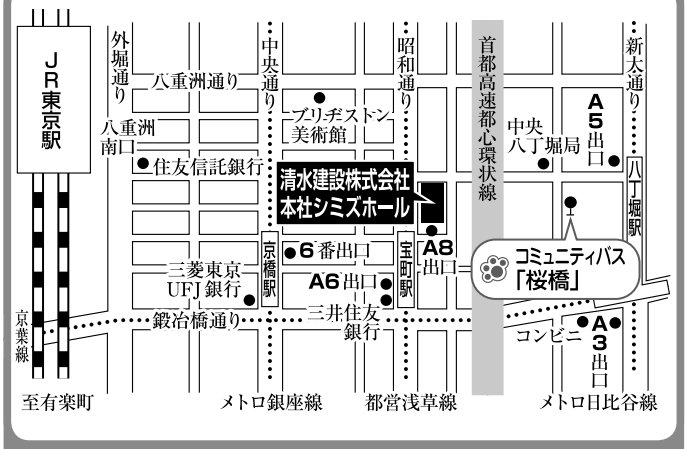
上原　大祐（うえはら　だいすけ）

2010年バンクーバーパラリンピックアイススレッジホッケー日本代表（銀メダル）。小学校、企業や自治体において数多くの講演を行う。

特定非営利活動法人 STAND とは

2005年設立。代表理事伊藤数子。年齢・性別・障害・職業・国や地域の区別なく、すべての人が持てる力を発揮し、誇りある自立を得、ともに明るく豊かに暮らす社会実現を目指しています。すべての人が、互いに尊厳を持ったコミュニケーションを確立するという「ユニバーサルコミュニケーション」に関する調査研究、人材育成、交流事業などを推進しています。

会場図



中央区京橋2－16－1

連携講座　③－12【朝日新聞社】　一般募集　35名

◆朝日新聞記者が時事を読み解く

主　題　2017年に生誕150年を迎える作家・夏目漱石は、朝日新聞社の社員でもありました。この偉大な先人の足跡を今に伝えようと、朝日新聞は2014年、100年前に連載された代表作『こころ』を再連載。その後も『三四郎』『それから』『門』『吾輩は猫である』など主要作品を紙面で紹介し、大きな反響を呼びました。

漱石が生きた時代は、現代に通じる点も多いといわれます。

この講座では、時を経ても色あせない漱石作品の魅力に迫るほか、政治、国際、財政の各分野で時局に沿った話題を取り上げ、解説します。いずれも朝日新聞のベテラン記者が、講師を務めます。

講座番号　③－12

時　間：午後3時30分～5時
※第3回は午後0時45分～2時30分
場　所：朝日新聞東京本社
2階読者ホール
回　数：5回
受講料：1,500円
定　員：40名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	1/11（水）	政治は変わるか ～2016年夏、参院選挙を経て～	国分　高史
第2回	1/18（水）	漱石が照らす「いま」	牧村　健一郎
第3回	1/25（水）	朝日新聞東京本社内見学（午後0時45分～2時30分）	
第4回	2/ 1（水）	国際社会の中の日本 ～米国新大統領就任を受けて～	沢村　亙
第5回	2/ 8（水）	財政再建と社会保障	田中　雄一郎

講師紹介

国分　高史（こくぶ　たかし）

朝日新聞論説委員(政治担当)。1989年入社。佐賀支局、西部本社社会部（福岡）などを経て1995年から東京本社政治部。首相官邸、自民党、外務省などを担当。2004年、米ワシントンのジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院客員研究員。帰国後、政治部次長などを経て現職。共著に『地方自治制度再編論議の深層』（公人の友社）など。

牧村　健一郎（まきむら　けんいちろう）

朝日新聞記者、朝日川柳選者、フェリス女学院大学講師。1976年入社。校閲部、学芸部、AERA編集部などを経て、現在、文化くらし報道部be編集部。近代史、書評、文芸などを担当。著書に『新聞記者夏目漱石』（平凡社新書）、『旅する漱石先生』（小学館）、『獅子文六の二つの昭和』（朝日選書）、『日中をひらいた男―高碕達之助』（朝日選書）など。

沢村　亙（さわむら　わたる）

朝日新聞論説委員（国際担当）。東京都生まれ。1986年入社。ニューヨーク（1993～96年）、ロンドン（98～2001年）、パリ（04～07年）で特派員。国際報道部長(2008年～11年)、ヨーロッパ総局長(11～13年)、中国・清華大学客員教員（13～14年）、編成局長補佐（14年～16年）を経て現職。専門分野は欧州と米国の政治社会全般。

田中　雄一郎（たなか　ゆういちろう）

朝日新聞論説副主幹。1964年兵庫県生まれ。1987年入社。津、豊橋両支局や東京、名古屋、福岡の各経済部員、社長室（新規事業開発担当）を経て、2011年4月から論説委員。経済部では税制・財政や経済政策などの行政分野を中心に取材した。現在は、ほかにTPPなどの通商政策や公共事業、交通政策、農林水産政策なども担当。

会場図

中央区築地5－3－2

連携講座　③－13【金沢大学】 一般募集　50名

◆金沢を知る

主　題　2015年3月14日、北陸新幹線が開業し、首都圏から金沢まで最短で2時間半で結ばれ、金沢がぐっと近くなりました。さらに金沢を身近に感じていただくため、さまざまな角度から金沢を紹介します。

全3回の講座では、百万石を築いた加賀藩の軍事力を支えた火薬製造のメカニズム、浄土真宗門徒の多い金沢市の地蔵信仰、関東大震災の時に金沢の三文豪（泉鏡花、徳田秋声、室生犀星）がどのような行動をとったかをそれぞれお話しします。

金沢を知り、興味・関心が深まることで、実際に足を運んでいただくきっかけになればうれしいです。

講座番号　③－13

時　間：午後2時～3時30分
場　所：築地社会教育会館
回　数：3回
受講料：900円
定　員：60名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	1/21（土）	加賀藩 火薬製造のメカニズム	福森　義宏
第2回	1/28（土）	金沢市の地蔵信仰	清水　邦彦
第3回	2/ 4（土）	関東大震災と金沢の三文豪	鈴木　暁世

講師紹介

福森　義宏（ふくもり　よしひろ）

金沢大学理事（企画評価･情報･社会貢献担当）、副学長。博士（理学）。大阪大学理学部生物学科卒業。大阪大学大学院理学研究科生理学専攻修了。専門は動物・微生物生理化学。

鈴木　暁世（すずき　あきよ）

金沢大学人間社会研究域准教授。人文学類言語文化コース担当。博士（文学）。大阪大学文学部人文学科卒業。大阪大学大学院文化表現論専攻修了。専門は日本近代文学・比較文学。

清水　邦彦（しみず　くにひこ）

金沢大学人間社会研究域准教授。国際学類日本・日本語教育コース担当。博士（歴史民俗資料学）。都立板橋高校卒業。学習院大学文学部哲学科卒業。筑波大学大学院日本文化研究学際カリキュラム単位取得退学。専門は日本思想史・日本民俗学。

連携講座　③－14【京都館】　一般募集　70名

◆京都講座～京の食文化と暮らし～

主　題　「京の食文化」は、京都の長い歴史と四季折々の自然の中、世代を越えて育まれ、発展してきたものです。

2013年10月、これらを未来につなげていくべく、京都をつなぐ無形文化遺産として「京の食文化－大切にしたい心、受け継ぎたい知恵と味」が選定され、また、同年12月にはユネスコの無形文化遺産として「和食；日本人の伝統的な食文化」が登録されるなど、長い歴史の中で私たちが育んできた食文化は、改めて、世界からも注目を集めているところです。

この講座では、京都から、京料理界の代表的老舗「たん熊　北店」三代目主人の栗栖正博氏、また、重要文化財杉本家住宅が生家であり、杉本家10代目当主・料理研究家の杉本節子氏を講師としてお招きし、京の食文化や京料理、京の暮らしについてたっぷりと解説していただきます。

講座番号　③－14

時　間：午後7時～8時30分
場　所：日本橋社会教育会館
回　数：2回
受講料：600円
定　員：80名（区民カレッジ枠）
※その他、京都市（「京あるきin東京2017」）でも受講生を募集します。区外の方もお申込みできます。（12月下旬募集予定）

※京都市のアンテナショップ「京都館」（東京駅八重洲中央口正面）
URL:http://kyotokan.jp/

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	2/15（水）	京都の歳時と京料理の美学	栗栖　正博
第2回	2/22（水）	京町家の暮らしに伝わる食文化～おばんざい～	杉本　節子

講師紹介

栗栖　正博（くりす　まさひろ）

京料理「たん熊 北店」代表取締役、三代目主人。京都市生まれ。カウンター割烹の草分け的存在となった「たん熊」の祖父・栗栖熊三郎や、父・正一に料理を学び四季の風趣を凝らし、真心の伝統を受け継ぐ。小学校で「食育」の特別授業を行う活動や武蔵野調理師専門学校、京都造形芸術大学など各料理学校で講師を勤める。また、京都若手料理人「芽ばえ会」などで後進の育成にも力を注ぐ。五条料理飲食業組合理事長、京都府料理生活衛生協同組合副理事長、NPO法人日本料理アカデミー副理事長。

杉本　節子（すぎもと　せつこ）

公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会常務理事兼事務局長、料理研究家、エッセイスト。京都市生まれ。生家は重要文化財の杉本家住宅、名勝の杉本氏庭園。和食文化に詳しく京町家杉本家と京都の年中行事・歳時記に関する歴史・食文化と伝統食を継承。京都市『京都をつなぐ無形文化遺産「京の食文化」』アドバイザー。2015年4月京都府立京都和食文化研究センター客員教授就任。2009年京都府あけぼの賞受賞。2014年10月京都市「和食―京の食文化」特別表彰。

栗栖　正博

杉本　節子

連携講座　③－15【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　一般募集　25名

◆世界遺産を深く学ぶ～世界遺産の光と影～

主　題　「世界遺産」は今や誰もが知っている言葉となりました。そして世界遺産といえば、壮大な自然や素晴らしい建造物などを思い浮かべることでしょう。しかし、それを守ってきた地元の人たちの努力、また遺産登録に際してどのような葛藤があったのか、登録後どのような問題が生じてきたのか、などについてはあまり知られていません。

この講座では、そうした部分に焦点を当て、遺産と人々の関わり合いについてお話しします。この点を明らかにすることで、なぜユネスコが世界遺産を創設したのか、その理由も見えてきます。講座を通じて、誰でも知っている世界遺産について、より深い、そしてより広範な知識を得ていきましょう。講義に際しては、DVDなど、できるだけ多くの映像資料を使って、今そこに暮らす人々と世界遺産の関わりについて明らかにしていきます。

講座番号　③－15

時　間：午後3時～4時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：5回
受講料：3,500円
定　員：30名

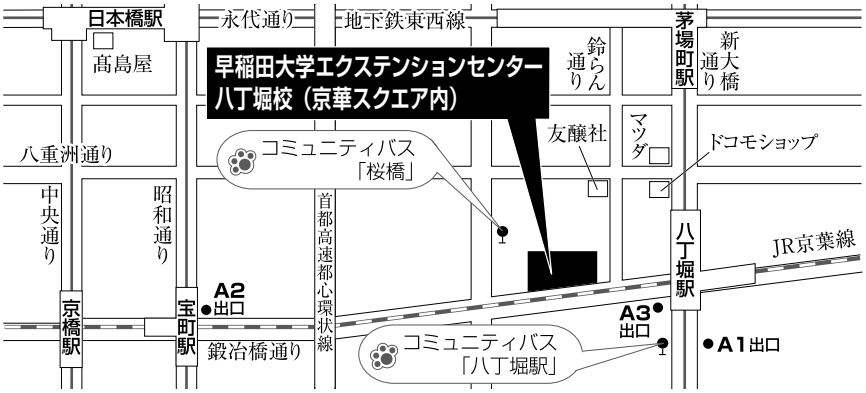
回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/ 3（月）	【はじめに：世界遺産とは何か】 ユネスコと世界遺産	西村　正雄
第2回	10/17（月）	【世界遺産とストーリー性】 異なった世界の交渉～東西交易の盛衰～	
第3回	10/24（月）	【ヨーロッパ世界とイスラーム世界】 宗教の対立と受容～ルネサンスの遺産～	
第4回	10/31（月）	日本の世界遺産と問題点	
第5回	11/ 7（月）	【自然への畏敬】 自然遺産、文化遺産、複合遺産～遺産と神の宿る大地～	

講師紹介

西村　正雄（にしむら　まさお）

早稲田大学教授。1950年生まれ。東京大学大学院を卒業後、ミシガン大学大学院へ進む。専攻分野（文化人類学、遺産学、東南アジア地域研究）。著訳書に「遺産をめぐる様々な意見」（『アジア地域文化学の構築』、雄山閣）、「ヘリテージ・ツーリズムと文化的アイデンティティ」（『アジア学のすすめ』、弘文堂）など。

会場図



【交通】■ 東京メトロ日比谷線、JR京葉線「八丁堀駅」A3出口より　徒歩1分
■ 都営地下鉄浅草線「宝町駅」A2出口より　徒歩7分

中央区八丁堀3－17－9 京華スクエア3階
☎5117－2073

連携講座　③－16【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　一般募集　20名

◆英語で紹介する日本

主　題　この講座は、基礎～初級レベルの英語運用力をお持ちの方が、日本の文化を英語で簡単に紹介できるようになることを目的としています。英語での簡単なボランティアガイドなどに興味がある方に特にお勧めの内容です。全10回の講義では、さまざまなアクティビティを介して、必要な知識とスキルの習得を目指しますが、講義そのものはユーモアを交え、楽しく、くだけた形で進めたいと思います。
Welcome Everybody!!

講座番号　③－16

時　間：午後1時～2時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円
定　員：30名

【対象】基礎～初級レベルの英語運用力をお持ちの方。具体的な目安は以下の通り。
TOEIC：～500点程度まで
TOEFL iBT：～50点程度まで
英語検定：～準2級程度まで

※レベルや内容などについてのお問合せは八丁堀校（5117-2073）担当までご連絡ください。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/ 4（火）	領土、気候	Robert L.Plautz
第2回	10/11（火）	歴史、日本人の特性	
第3回	10/18（火）	日本を旅する（交通事情、治安）	
第4回	10/25（火）	日本を旅する（観光名所）	
第5回	11/ 1（火）	家庭、ライフスタイル	
第6回	11/ 8（火）	食べ物、飲み物	
第7回	11/15（火）	国民の休日	
第8回	11/22（火）	スポーツ、東京オリンピック	
第9回	11/29（火）	日本美術、文化①	
第10回	12/ 6（火）	日本美術、文化②	

講師紹介

Robert L.Plautz（ロバート　プラウツ）

翻訳家。アメリカ、ミシガン州出身。1983年ブリガム・ヤング大学（歴史専攻）にて、最優等（Summa Cum Laude）で学士号を得る。1984年10月東京外国語大学へ留学し、日本の近代史の研究を行う。1988年コロンビア大学（ジャーナリズム学部）にて修士号を得る。1988～89年ルイジアナ州シュリーブポートジャーナル社にて、社説担当副編集長として従事。国際交流員として大分県企画調整課に勤務、平松知事の通訳を行う。

連携講座　③－17【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　一般募集　25名

◆江戸時代の後宮

講座番号　③－17

時　間：午後3時～4時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円
定　員：30名

主　題　江戸時代の後宮は、朝廷が政治から切り離されている、と考えられていたこともあって、古代ほど注目されてきませんでした。そのため、研究もかなり遅れています。しかし近年、朝廷の見直しがなされるようになると、その奥向きにも目が向けられるようになりました。

この講座では、現在の最新の研究成果を踏まえて、江戸時代の後宮の仕組みや制度を学んでいただき、その中で生きた天皇の妻や娘、そして近仕する女官たちの実態をお話しします。

前半は後宮そのものを、後半は天皇の娘たちを取り上げます。江戸時代の皇女は、嫁ぐ者、入寺する者、天皇家に残る者に分かれました。それぞれがどのような役割を背負っていたのかを考えていきましょう。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/ 7（金）	後陽成天皇の後宮と官女密通事件	久保　貴子
第2回	10/14（金）	女御・皇后・皇太后の復活	
第3回	10/21（金）	禁裏の女官	
第4回	10/28（金）	霊元天皇女御入内の背景	
第5回	11/11（金）	天皇の外戚	
第6回	11/18（金）	将軍の婚約者　八十宮	
第7回	11/25（金）	比丘尼御所の紫衣色衣勅許問題	
第8回	12/ 2（金）	江戸時代の女帝	
第9回	12/ 9（金）	中宮　欣子内親王	
第10回	12/16（金）	桂宮当主　淑子内親王	

講師紹介

久保　貴子（くぼ　たかこ）

早稲田大学・昭和女子大学講師。早稲田大学大学院文学研究科史学（日本史）専攻博士後期課程満期退学。博士（文学、早稲田大学）。専門は日本近世史。著書に『近世の朝廷運営―朝幕関係の展開―』（岩田書院）、『徳川和子』（吉川弘文館）、『後水尾天皇』（ミネルヴァ書房）など。

連携講座　③－18【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　一般募集　10名

◆漢方と顔のツボ健康法

主　題　「肌は内臓の鏡」といいます。内臓の疲れは疲労感や脊椎の歪みとして現れてきます。漢方医学は五臓六腑を中心とした医学です。五臓六腑と関連したツボが手足にもあるように、顔にもあり、そのツボへの軽い刺激で、五臓六腑を賦活すると、脊椎の歪みも改善され、顔の肌の健康美にもつながってきます。

この講座で、脊椎の歪み具合を調べ、関連する臓腑の疲れを顔のツボで癒しながら脊椎の改善を図ると同時に、肌もよみがえってくることを共に実感してみませんか。

講座番号　③－18

時　間：午後３時～４時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円
定　員：30名

回数	日程	講義内容
第１回	10/11（火）	漢方の考え方①
第２回	10/18（火）	漢方の考え方②
第３回	10/25（火）	漢方の考え方③
第４回	11/　1（火）	顔のツボの各論編①
第５回	11/　8（火）	顔のツボの各論編②
第６回	11/15（火）	顔のツボの各論編③
第７回	11/22（火）	顔のツボの各論編④
第８回	11/29（火）	顔のツボの各論編⑤
第９回	12/　6（火）	顔のツボの各論編⑥
第10回	12/13（火）	顔のツボの各論編⑦

講　師　紹　介

織田　啓成（おだ　ひろなり）

薬剤師・鍼灸師、元衛星テレビ「暮らしの中の漢方」講師、丹平漢方専任講師、埼玉県療術師会専任講師。東京都生まれ。東京薬科大学卒業。専攻分野は漢方医学（漢方薬･針灸医学）。著書に『手の反射療法』、『足裏の反射療法』、『顔のツボ反射療法』、『漢方医学概論』、『経路相関論』、『健康のメカニズム』、『大往生のための健康読本』など多数。

連携講座　③－19【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　一般募集　25名

◆猫が隠れている近代日本文学

主　題　読み慣れたはずの著名な作家の大作を、「猫」に着目して再読すると、どんな風に変容して見えるでしょう。「猫」が隠れている知られざる名作にはどんなものがあるのでしょうか。

この講座は、猫と文学を愛する人のための、猫づくしの文学講義です。単に文学の中の猫を愛でるだけではなく、テクストの中の「猫」を掘り起こしながら、「物語」「イメージ」「メタファー（比喩）」の読み方を学び、文学の実験的な方法や生命観、風刺･寓意などについても考察します。夏目漱石、萩原朔太郎、梶井基次郎、谷崎潤一郎、金井美恵子らの文学と「猫」について読み、かつ語ります。

講座番号　③－19

時　間：午後１時～２時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：5回
受講料：3,500円
定　員：30名

回数	日程	講義内容
第１回	10/27（木）	夏目漱石『吾輩は猫である』 ～「猫」という新しい文学の視点～
第２回	11/10（木）	萩原朔太郎『猫町』 ～「猫」と幻想空間～
第３回	11/17（木）	梶井基次郎『愛撫』 ～「猫」と感覚の揺らぎ～
第４回	11/24（木）	谷崎潤一郎『猫と庄造と二人のをんな』 ～異性としての「猫」～
第５回	12/　1（木）	金井美恵子『タマや』 ～新しい文学と家族～

講　師　紹　介

川崎　賢子（かわさき　けんこ）

日本映画大学教授、早稲田大学講師。専門は日本近代文学・文化・演劇。著書に『彼等の昭和～長谷川海太郎･淋二郎･濬･四郎』（白水社）、『尾崎翠　砂丘の彼方へ』（岩波書店）、『宝塚百年を越えて～植田紳爾に聞く』（国書刊行会）、共編著に『占領期雑誌資料大系　文学篇（全5巻）』（岩波書店）など。